

神苑

神苑の決意

■ 本号の内容 (「主張」いじめ・任官拒否、安保関連法、日報隠ぺい、南西諸島配備 自衛隊は、これでもいいのか (木川智) : 1 / 「連載」アジア放浪記―歴史を掘り起こし日本を見る タイ編② (仲村之菊) : 4 / 花瑛塾 二月〜三月活動報告 : 6 / 「記録沖縄戦」① 軍民・日米それぞれの視点から (沖縄戦史研究会「棒兵隊」) : 10 / お知らせ・編集後記 : 16

1 部 1000 円  
(別途送料 160 円)

いじめ・任官拒否、安保関連法、日報隠ぺい、南西諸島配備

# 自衛隊は、これでもいいのか

神苑の決意 主筆 木川 智

【主張】昭和二九年(一九五四)の発足以来、自衛隊は今年で六五年の長きにわたり、日本の国防を担ってきた。自衛隊の前身である保安隊や警察予備隊を含めれば、その歴史は七〇年近いものとなる。

私たちは日々の厳しい任務にあたる自衛隊員に心から敬意を表するものであり、災害救助はじめ身を挺して国民の生命・財産を守る自衛隊に対し、国民的理解と信頼が深まっている現状を評価するものである。そして国防・安全保障の重要性を認識するものとして、これからも自衛隊にはその活躍を期待す

るものである。

しかし、そうであればこそ、近年の自衛隊をめぐる状況や日本の防衛政策のあり方について、私たちは大きな疑問と憤りを抱いている。「自衛隊は、これでもいいのか」「日本の防衛政策は、これでもいいのか」――このように強く思うのである。

■ 防衛大での大量任官拒否と深刻ないじめ

先月一七日、防衛大で卒業式がおこなわれた。い

うまでもなく、防衛大とは幹部自衛官を育成する機関であるが、今年度四七八人の卒業生のうち約一割となる四九人が任官拒否をし、自衛隊に入隊しなかった。防衛大卒業生のうち任官拒否者は常に一定数はいるのだが、四九人という数は、世間がバブル景気に沸き給与など民間会社の雇用条件が非常によかった平成三年(一九九一)の九四人に次ぐものであり、異常事態といわざるをえない。任官拒否の理由は、「民間企業へ行きたいから」「自衛隊には向いていないと思った」などであったそうだが、後者の理